

平成 24 年度 事業計画書



【 浜田市地域福祉活動計画の基本理念 】

「誰もが安心して
暮らすことができる
福祉のまちづくり」

◀ 基本目標 ▶

1. 住民参加・協働によるまちづくりの推進
2. 利用者本位の福祉サービスの実施推進
3. 支援体制の整備の推進
4. 福祉ニーズに基づく先駆的な取り組みの推進

社会福祉法人 浜田市社会福祉協議会

平成24年度 事業計画

〈理念〉

～ 地域の住民や団体の相互理解と協働・連携による ～
「誰もが安心してくらすことができる福祉のまちづくり」

〈基本方針〉

近年、少子高齢化をはじめ、人々の価値観やライフスタイルの変化等を背景に地域社会におけるつながりが弱まり、人間関係の希薄化や孤立化がさまざまな生活・福祉課題を生起させています。

こうした中で、全ての人々が住み慣れた地域で 障がいの有無や年齢に関係なく 尊厳をもち安心して生き生きと暮らすことができるよう、地域全体で支え合う地域福祉活動が求められています。

本会は、地域福祉を推進する中核的な民間の団体であり、本会のもつ役割は重要で今後益々多岐にわたるものと思われます。

さらに、今日全国各地で頻発する自然災害時における要援護者支援、ボランティアセンターの運営等においても大きな役割が求められています。

このような中で、国においては、社会保障と税の一体改革が進められ、その筆頭に社会保障の機能強化を挙げ「医療・介護とまちづくりを一体として」進める地域包括ケアで「全世代対応型」の社会保障への転換が進められていますが、なお混とんとした状況にあります。

地域福祉の推進に向け、福祉の維持向上に努め、地域の住民の期待に応えるため、事業の点検を実施し、次の事業方針に添って、7つの重点目標を掲げて事業を展開してまいります。

〈事業方針〉

1. 地域の住民や団体の相互理解と協働・連携による福祉活動を推進します。
2. 利用者本位の福祉サービスを実現します。
3. 福祉ニーズを把握し総合的な支援体制の実現に努めます。
4. 情報公開と説明責任を果たし信頼される組織を目指します。
5. 法令を遵守し効率のよい自立した経営を行います。

《重点目標》

1. 住みよい地域を作るため、地域で支えあうことのできる組織づくりを推進します。
2. 災害時への対応と防災意識を高めるため、災害ボランティアの組織づくりを推進します。
3. 地域のつながりと元気な高齢社会を実現するため、ふれあいいきいきサロン活動を推進します。
4. 安定した事業所運営を継続するため、信頼され、効率のよい経営を確立します。
5. 職員の資質向上を図るため、研修を統合一体的に実施します。
6. 職員個々の意欲を喚起し、組織の活性化を図るため、人事考課制度導入の検討をします。
7. 会員加入への理解を得るため、社協活動の一層の周知・普及に努めます。

《事業計画》

1. 市民による支え合い、助け合いのあるまちづくり

1 - 1 地域活動の拠点・「地域で支えあう住民組織づくり」

- (1) 地域活動の拠点・「地域で支えあう住民組織」づくり
 - ・地区社協、地区民児協、地区公民館等地域の組織との連携を密にし、「新たな支え合い」（共助）の組織づくりを進めます。
- (2) 地区社協との連携強化と活動の強化推進
 - ①福祉の心を育てる事業の推進
(地区社協会長・事務局長会、役員懇談会・研修会等)
 - ②福祉の輪を広げる事業の推進
(友愛訪問、敬老会、三世代交流事業等)
- (3) 福祉委員活動の推進と活動支援
 - ・民生児童委員、地区社協等と連携した日常の見守り事業を進めます。
 - ②福祉委員研修会の実施
 - ②福祉委員685人の活動支援
(浜田448名、金城70名、旭44名、弥栄27名、三隅96名)
- (4) 自治会等の地域コミュニティ組織活動支援
 - ・小地域福祉活動に取り組む自治会等の支援を行います。
 - ①しまね流自治会区安心生活創造プロジェクトフォーラムへの参加
 - ②パーソナルサポート推進事業フォーラムへの参加
 - ③助成事業説明会（助成金額等 未定）
- (5) 地域福祉推進助成事業

- ①共同募金の助成金を活用し、地域に福祉活動を助長する事業、活動を展開する団体等に助成を行います。（5万円、13団体65万円を予定）
- (6) 地域福祉活動計画の策定（総事業費 377 千円を予定）
 - ・地域福祉活動計画の最終年度にあたり、計画の評価・検証を行い第2次地域福祉活動計画の策定を行います。
 - ①市民懇話会の開催
 - ②小委員会（2回）、策定委員会（4回）の開催
- (7) 福祉バス運行事業
 - ・地域福祉の推進、当事者団体、福祉関係団体の活動を推進するとともに、交通手段を支援します
 - ・本所（登録団体67団体 運行経費 361 万円）
 - ・三隅支所（運行経費 35万円）
- (8) 祭壇貸出事業（弥栄支所）

葬祭に伴う経費の低減、自主財源の確保を目的に弥栄福祉圏世帯を対象に祭壇の貸出を実施します。

・23年度2月末実績	貸出件数	20件
	事業収入	94万円
	事業支出	56万円
	地域福祉事業へ（見込み）	38万円

1 - 2 地域のつながりづくり

- (1) サロン活動の推進
 - ・ふれあい・いきいきサロンの立ち上げと仲間づくりを進めます。
 - ①サロンコーディネーターを設置し、高齢者サロン活動を支援します。
 - ②高齢者サロン立ち上げの支援を行います。（助成2万円 5カ所を予定）
 - ③交流会、研修会の実施：サロン活動を担うスタッフ等の交流会を実施します。
- (2) 障がい児居場所づくり
 - ・「地域全体で障がいのある子どもを育てていく」という認識のもと県社協の補助金、共同募金の助成金を活用し、事業を実施します。
- (3) 歳末助け合い事業
 - ・あったかい年末年始を過ごせるような福祉事業の取り組みに対し助成します。
 - ①募金の範囲内で助成金3万円
 - ②歳末高齢者等配食事業

・金城支所	100食	総事業費	350千円
・旭支所	190食	総事業費	300千円
・弥栄支所	130食	総事業費	104千円
- (4) さんあい祭の開催（金城支所）

「であい」「ふれあい」「かたりあい」をテーマに地域住民や施設利用者が一堂に会し、交流をとおして地域福祉の向上に寄与する事業を実施します。

(総事業費 776 千円)

1 - 3 市民活動・ボランティア活動への協力支援

(1) ボランティア活動の推進

①ボランティアセンター機能の充実

- ・ボランティアセンターの充実を図ります。
- ・生活支援サポーター養成を行います。(事業費 44 千円を予定)
- ・情報の収集・提供機能の強化を図ります。(情報誌の発行 30 万円を予定)

②地域課題対応プログラム・団塊の世代活性化プロジェクト事業

- ・団塊世代のボランティア活動、地域活動の場を提供するとともに、協働と連携による地域課題対応事業に取り組みます。

③ボランティア登録・活動保険・行事用保険加入の斡旋・器材等の便宜

- ・ボランティア登録の充実
- ・保険の紹介と斡旋機能の充実強化
活動中の事故に備え、ボランティア活動保険や行事用保険の紹介と斡旋を行います。

1 - 4 災害時に対応できる地域づくり

(1) 災害時に対応できる地域の体制整備

- ・災害ボランティア登録制度の充実と災害ボランティアセンターが設立できる人材を育成します。

①災害ボランティア受け入れについての研修の実施

②災害ボランティア養成講座の開催

- ・浜田市との共催により、災害に備えた減災、防災についての取り組みについて学び考えます。(事業費 113 千円を予定)

③災害ボランティア活動マニュアル、災害ボランティアセンター運営マニュアルの見直しを行います

2. 安心して地域で暮らせる仕組みづくり

2 - 1 相談支援体制の整備

(1) 総合相談事業

- ①「法律相談所」の開設 (毎月1回、支所4ヶ所巡回、支所年間3回 年度計12回 司法書士による相談)
- ②「心配ごと相談所」の開設(支所単位5ヶ所、年間)(浜田44回、金城12回、旭26回、弥栄12回、三隅26回)
- ③心配ごと相談員13名(浜田3人、金城2人、旭1人、弥栄3人、三隅4人)
 - ・研修会、事例検討会の開催
 - ・住民が抱えている生活上の悩みごとや困りごとに対して解決に向けたアドバイスや専門機関への橋渡し等行政の補助を受け行います。
(総事業費：110万円))

2 - 2 市民に分かりやすい情報の提供

(1) 福祉に関する情報提供の整備拡充

- ①「社協だより」の発行（毎月1回 25,790部発行 総事業費：442万円）
- ②ホームページの運用（逐次更新）

(2) イベントによる広報啓発

- ・市内の福祉関係者と市民との接点の場作り、地域福祉の重要性と手法を周知するため、各地域において福祉の集い等を開催します。

(3) 「はまだ市民福祉大会」の開催（事業費35万円を予定）

- ・永年にわたり地域福祉推進に尽力された個人・団体を表彰し、地域の福祉活動を紹介します。
期日：9月29日（土） 会場：島根県立大学 講堂

(4) 浜田市戦没者追悼式の開催（事業費51万円を予定）

- ・浜田市より出兵され、戦死された英霊の追悼式を浜田市の委託で開催します。
期日：9月8日（土） 会場：浜田市総合福祉センター

2 - 3 安心して適切なサービスを利用できる仕組みづくり

(1) 地域に根差した事業所の活動

- ・各事業所において職員の専門性を活かした地域への講師派遣等、地域に根差した活動を実施します。

(2) 介護保険事業従事者の資質の向上

- ・各事業所の計画研修を実施します。
- ・浜田市社協全体における事業所間ネットワークの構築を推進します。

(3) 福祉サービスの提供（介護保険事業）

- ・制度改正に伴い、介護保険サービス、障がい者自立支援サービスを戦略的に実施します。

① 居宅介護支援事業の実施

地域に積極的に出向き地域から信頼される事業所を目指します。

- ・ケアプランの作成、認定調査の実施。
- ・浜田市居宅介護支援事業所（浜田支所）、さんあい居宅介護支援事業所（金城支所）、居宅介護支援みすみ（三隅支所）の3か所の事業所で実施します。

② 通所介護事業（デイサービス）の実施

利用者に充実した時間を過ごしていただくためより良いサービスの提供に努め利用者増を計ります。

- ・野原デイサービスセンター（浜田支所）、さんあい通所介護事業所（金城支所）、杉の森デイサービスセンター（三隅支所）の3か所の事業所で実施します
- ・3か所の定員数の増員を検討します。（現在；3カ所合計85人）

③ 訪問介護事業の実施

愛ある温かいサービスを提供する為に、自身の健康に気を付け、事故のない

行動をし、研修、研鑽に積極的に参加します。また事業運営体制の見直しを実施します。

- ・浜田市訪問介護事業所（浜田支所）、さんあい訪問介護事業所（金城支所）、ヘルパーみすみ（三隅支所）の3か所の事業所で実施します。
障がい福祉サービス、軽度生活援助事業にも対応します。

④訪問入浴事業の実施

ボイラーを積載した特殊車両を使用し、自宅のベッドサイドで入浴ができるサービスをPRするとともに、利用者減に伴う統廃合をも視野に入れ健全経営に努めます。

- ・浜田市訪問入浴介護事業所（浜田支所）、しあわせ入浴三隅（三隅支所）の2か所の事業所で実施します。

⑤短期入所生活介護事業（金城支所）

入所者への生活指導、健康チェック、定期的な見守り、食事の提供等を実施し健全運営に努めます。

⑥障がい福祉サービス事業の実施

個々のニーズに合わせたサービスの展開を目指します。

（4）福祉サービスの提供（受託事業）

①高齢者介護予防事業（ミニデイ）の受託

要介護状態にならないよう、適切な運動等を指導し、機能低下を防ぐサービスを4支所（浜田、金城、旭、三隅）で、浜田市の委託で行います。

浜田支所	月 15 会場	月 2 回	事業費	18,933 千円
金城支所	月 3 会場	月 2 回	事業費	2,698 千円
旭 支所	月 11 会場	月 1 回	事業費	5,047 千円
三隅支所	月 8 会場	月 2 回	事業費	5,837 千円

②高齢者生活福祉センター（居住棟）の受託（金城支所）

浜田市金城高齢者生活福祉センター条例に則り在宅の高齢者等の自主的生活の助長、社会的孤立感の解消及び心身機能の維持向上が図れるよう生活指導、定期的な見守りを浜田市の委託で行います。

③軽度生活援助員派遣事業

介護保険法に規定する要介護認定又は要支援認定の非該当者であって、在宅に支援が必要と認められる高齢者宅に援助員を派遣し、援助を行い自立した生活を支援し、要介護状態への進行を予防する事業を浜田市の委託で行います。

2 - 4 サービス利用者の権利を守るための取り組み

（1）福祉サービスの利用促進

①法人後見事業の実施（総事業費 1,566 千円）

判断能力が衰えたため、十分な自己決定ができない人を支え、本人の自己決定を法律的に保護し、手助けをする事業を浜田市の補助を受けて行います。

- ・市民後見人養成講座の開催（3回講座 定員30人）
- ・成年後見制度・法人後見事業講演会の開催

②日常生活自立支援事業の実施（総事業費 8,281 千円）

判断能力が十分でない方々が、できるかぎり地域で安心して自立して生活が送れるよう、金銭管理や重要書類などの預かりサービスを行うことで自立生活の

支援をするサービスを県社協の委託を受け実施します。

- ・研修会の実施（支援員全体研修、地区別ケース検討会議）

③生活福祉資金の相談・受付の実施

低所得者、高齢者、障がい者世帯に対し目的別の資金貸付の窓口業務を行います。（5支所）

④民生融金の貸付

生活の維持及び自立更生に必要な一定の資金を一時貸付を行うことにより民生の安定を図り、5万円を限度に貸出し、生活を支援します。

- ・平成24年度より窓口を支所窓口のみとし、健全化を図ります。

⑤ふくし身元保証制度（仮称）導入に向け検討します。

事業の重要性及び社会的な必要性を鑑み、調査、検討を行います。

(2) サービス利用者の苦情解決体制の継続

①苦情相談窓口の設置

- ・各事業所に置く苦情相談窓口で対応します。

②第三者委員（浜田3人、金城3人、旭2人、弥栄1人、三隅3人）

- ・苦情解決責任者（浜田・金城・旭・弥栄・三隅支所長）
- ・苦情受付担当者（管理者、係長、課長）で対応します。
- ・苦情解決委員会、研修会の実施

3. 福祉のまちを育む人づくり・環境づくり

3 - 1 福祉教育の推進

(1) 福祉教育副読本の作成

- ①福祉教育推進に向け児童生徒を対象とした「福祉教育副読本」を共同募金の助成金を受け発刊に取り組みます。（予算10万円を予定）

(2) 障がい者とスポーツで交流事業

- ①障がい者とスポーツを通じて交流することにより、ともに生きるバリアフリー社会の実現に寄与します。

- ・実施スポーツ：車いすバスケット
- ・対象：市内中学校生徒

(3) 学校教育との連携強化

①助成金による支援の実施

- ・「福祉教育実践校活動助成」を行います。

（幼稚園4園、小学校25校、中学校9校 38校 予算2,026千円を予定）

②福祉教育促進事業の実施

- ・学校長、担当教諭との連絡会の開催、福祉機材の貸し出し等を実施します。

③夏休み福祉体験事業の実施

- ・夏休みを利用し、児童・生徒の福祉・教育施設、ボランティアやサロンなどの福祉活動に触れることができる機会づくりを開催します。

（金城 旭 弥栄 三隅 650人程度参加見込み）

④青少年主張弁論大会支援、みすみ習字支援

(4) 青少年健全育成事業

- ①共同募金の助成金を活用し、青少年を対象とし、スポーツ・文化活動等を通じて青少年の健全育成・地域と青少年の交流事業に助成を行います。
(5万円、3団体15万円を予定)

(5) 赤ちゃんふれあい体験事業(弥栄・三隅支所)

- ①赤ちゃんに触れ合うことを体験することにより、生命の尊さ、大切さを学び将来の子育ての一助となるよう実施します。
事業概要 乳幼児の抱き方、おむつ交換、離乳食の試食など
事業費 (22千円 弥栄; 7千円 三隅; 15千円)

3-2 快適で暮らしやすい生活環境の整備

(1) あいサポート運動推進事業

- ・障がいのことを知り、理解し共に生きるサポーター養成研修を実施します。
(平成23年度2月末 メッセンジャー 62名(内社協職員11名)
サポーター 182名)

(2) 手話奉仕員要約筆記奉仕員派遣事業並びに養成事業の実施

- ・聴覚障がい者の情報保障、社会参加促進のため手話・要約筆記の奉仕員派遣事業並びに手話奉仕員、要約筆記奉仕員養成講座を浜田市の委託で開催します。

(3) 城山学級、城山大学の開設と囲碁大会の実施

- ・6学級を毎月1回、大学年間11講座、囲碁大会を年間3回開催します。
・内容の充実と受講生の増員を推進します。

(4) 子育て推進事業

- ・子育て家庭の孤立化を防止し、相談・交流の場づくりを実施します。
浜田支所 各地区(5地区) 月1回 年度計 60回 事業費 268千円
金城支所 月1回 年度計 12回 事業費 54千円
旭支所 月1回 年度計 12回 事業費 91千円
弥栄支所 月1回 年度計 12回 事業費 126千円
三隅支所 月2回 年度計 24回 事業費 128千円

(5) 食事提供見守りサービス事業(旭支所)

- ・要援護者に手作りの食事及び見守りサービスを提供し、健全な食生活の維持と安否確認を行う。
利用者 45名、調理・配食ボランティア 67名
内容 月2食 夕食弁当 年間1,080食
事業費 699千円(利用料、共同募金配分金、自主財源)

(6) 家族介護者交流事業

日頃在宅の要介護者を介護している家族を一時的に介護から解放し、介護者相互の情報交換と心身のリフレッシュを図る事業を行政の委託と自主財源で実

施します

金城支所	家族介護研修及び学習	情報交換	(事業費 40万円)
旭支所	家族介護研修及び学習	情報交換	(事業費 12万円)
三隅支所	家族介護研修及び学習	情報交換	(事業費 20万円)

(7) 独居高齢者支援事業(三隅支所)

一人暮らし高齢者の閉じこもりを無くし、相互の交流の機会を行政の委託金と自主財源で実施します。

対象者	420名	
事業概要	学習と交流	(総事業費 109万円)

4. 社会福祉協議会の基盤強化

(1) 組織の充実

- ①理事会、評議員会の開催 (理事会6回、評議員会3回開催)
- ②監査会の開催(監査会2回、内部経理監査2回)
- ③部会の開催 (法人運営部会2回、地域福祉部会4回、介護福祉部会2回)
- ④委員会の開催(地域福祉活動助成金審査会、VC運営委員会、生活福祉資金調査委員会、地域福祉活動推進委員会、法人後見運営委員会、広報編集委員会、老人福祉センター運営委員会、苦情解決委員会)
- ⑤地区社協合同会議の開催
社協の事業説明を行うとともに、全市的な情報交換、活動紹介を行い地区社協の活性化を図ります。
- ⑥会議の開催 (企画調整会議、係長会議、経営会議、事業会議、管理職会議【定例又は随時開催】)
- ⑦目標設定(事業評価と企画票)及び評価活動の実施
・事業所、個人で人事考課制度に向け取り組みます。
- ⑧浜田市社会福祉協議会運営適正化計画の進行管理と見直しを行います。
- ⑨浜田市地域福祉活動計画の見直し
・平成25年から29年までの5年間の行動計画を策定します。

(2) 財政基盤の強化

- ①会員募集による自主財源の確保
 - ・関係機関と連携し、魅力ある社協をめざし、社協活動のPRに努め、会員への理解を求めるとともに、会員の増員を図ります。
 - 一般会費 1口 800円 19,400口以上の加入をめざします。
(23年度2月末実績 19,391口)
 - 賛助会費 1口 2,000円 1,500口以上の加入をめざします。
(23年度2月末実績 1,387口)
 - 特別会員 1口 5,000円 200口以上の加入をめざします
(23年度2月末実績 169口)
 - ふるさと会員 1口 2,000円 95口以上の加入をめざします。
(23年度2月末実績 79口)

②効率的な経営感覚修得の推進

- ・会計事務所による会計指導を受けながら経営感覚の習得に努めます。
- ・管理者（課長、支所長、係長）の経営意識の向上に努めます。

（3）職員体制の整備と資質向上

①職員の資格取得の促進

- ・介護福祉士、社会福祉士、介護支援専門員、サービス管理責任者等の資格取得を支援します。（自主研修に対し受講料の助成）

②人事考課制度導入の検討

- ・意欲の持てる職場づくりと職員の資質の向上を図るため、人事考課制度導入の検討を行います。

③職員研修体系に基づく計画的な研修の実施

④ヒヤリハット報告、事故報告に基づく検証と業務改善

5. その他団体事務

（1）島根県共同募金会浜田市共同募金委員会

①共同募金運動の実施

- ・赤い羽根募金（戸別、街頭、法人・個人、学校、職域、イベント募金）を市民ボランティアの協力のもと実施します。

（前年度実績額 ; 15,766,723 円）

- ・歳末助け合い募金及び歳末事業の実施

（前年度実績額 ; 5,198,850 円）

②助成金申請調整機能の充実

- ・助成金申請受付、連絡調整を行います。

（2）日本赤十字社島根県支部浜田市地区

①社員増強運動、社資募集

- ・日本赤十字社社員の募集（社資700円）、社員管理事務を行います。

（目標：1,300万円 前年度 1,260万円）

- ・交付金の有効利用の検討

②赤十字奉仕団の支援と連携

③災害、防災機材の確保

（3）その他の関係福祉団体

①浜田市民生児童委員協議会

②浜田市身体障害者福祉協会

③浜田市高齢者クラブ連合会支部

- ・各関係福祉団体と連携・協働により福祉の向上に邁進します。

《主な会務 & 行事予定》

◇：浜田市社協 ○：関係機関・団体

月	主 な 会 務 及 び 行 事
4月	○浜田市民生児童委員協議会総会（4/26）
5月	○浜田市高齢者クラブ連合会総会（中旬：総合福祉センター） ◇社協内部経理監査（5/14：平成23年度決算） ◇社協監査会（5/15：平成23年度決算） ◇浜田市地区社協合同会議（中旬～下旬：総合福祉センター） ◇第1回理事会（5/21：平成23年度事業報告・決算報告 他） ◇第1回評議員会（5/28：平成23年度事業報告・決算報告 他） ◇各福祉圏まちづくり推進会議（初旬～中旬：事業報告・決算報告） ◇各福祉圏地区社協総会（中旬～下旬） ○県社協評議員会（下旬：松江市） ○県共同募金会評議員会（下旬：松江市） ◇城山大学開講式（下旬：会長＝学長）
6月	◇第1回地域福祉部会（中旬：地域福祉活動計画について 他） ○日赤県支部評議員会（中旬：松江市）
7月	○浜田市身体障害者福祉協会総会（中旬：市内） ◇第2回理事会（下旬：はまだ市民総合社会福祉大会 他） ◇第1回法人運営部会（下旬：はまだ市民福祉大会について 他） ○県共同募金会評議員会（下旬：松江市）
8月	○県市町村社協会長会・役員会・総会（下旬：松江市） ◇第2回地域福祉部会（中旬：地域福祉活動計画について） ○県西部地区市町村社協トップミーティング（中旬：未定）
9月	○浜田市防災水防訓練への参加（上旬：未定） ◇第3回理事会（中旬） ◇浜田市戦没者追悼式（9/8：総合福祉センター） ◇平成24年度はまだ市民福祉大会（9/29：県立大学講堂）
10月	○「赤い羽根共同募金」街頭募金活動（10/1：市内一円） ○しまね県民福祉大会（10/27：松江市） ◇金城支所さんあい祭り（10/27；金城さんあいホーム） ◇第1回介護福祉部会（下旬：介護保険事業について） ○浜田市健康福祉フェスティバル（10/21：海のみえる文化公園周辺）

11月	<ul style="list-style-type: none"> ◇指定管理施設の消火・避難訓練（初旬） ◇社協内部経理中間監査（中旬：平成24年度事業・予算執行） ◇社協中間監査（中旬：平成24年度事業・予算執行） ◇第3回地域福祉部会（下旬：地域福祉活動計画について） ◇第4回理事会（中旬：補正予算 他） ◇第3回評議員会（中旬：補正予算 他）
12月	<ul style="list-style-type: none"> ◇歳末たすけあい事業（初旬～下旬：各福祉圏）
1月	<ul style="list-style-type: none"> ◇第5回理事会（下旬：新年度予算編成方針について 他）
2月	<ul style="list-style-type: none"> ○日赤島根支部評議員会（下旬：松江市） ◇第4回地域福祉部会（下旬：地域福祉活動計画について 他） ◇第2回介護福祉部会（下旬：介護保険事業の状況について 他）
3月	<ul style="list-style-type: none"> ◇指定管理施設の消火・避難訓練（初旬） ◇第2回法人運営部会（初旬：平成25年度事業計画・当初予算 他） ◇第6回理事会（中旬：平成25年度事業計画・当初予算 他） ◇第3回評議員会（下旬：平成25年度事業計画・当初予算 他） ◇城山大学閉講式（下旬：会長＝学長） ○県共同募金会評議員会（下旬：松江市）